

令和 5 年 4 月 3 日

菊池市議会議員

水上 隆光 様

議員名 福島 英徳



令和4年度政務活動費収支報告書

菊池市議会政務活動費の交付に関する条例第6条の規定により、次のとおり政務活動費収支報告書を提出します。

1 収入

政務活動費 240,000 円

2 支出

(単位 円)

項目	金額	備考
会議研修費		
調査研究費	3,710	行政文書開示請求代
資料作成費		
資料購入費	33,000	日本教育新聞購読費
広報費	222,044	個人広報の印刷および送代、web維持管理費
広聴費		
人件費		
事務所費		
要請・陳情活動費		
合計	258,754	


(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載する。

3 残額


0 円(支出が収入を上回る場合は0を記入)



(納付者用)      領      収      書      No 002238

一般 会計	令和4 年度	
納 入 者	住所	番地
	氏名 福島 英徳	様
金 額	¥ 7 3 6 9 0	円
但し 行政文書開示に係るコピー代として (10円×369枚)  上記の金額を領収しました。 令和4年 8月 24日  菊池市 出納員・会計職員 氏名 総務課長 開田 智浩		領 収 印  

(納付者用)      領      収      書      No 002237

一般 会計	令和4 年度	
納 入 者	住所	番地
	氏名 福島 英徳	様
金 額	¥ 2 0	円
但し 行政文書開示に係るコピー代として (10円×2枚)  上記の金額を領収しました。 令和4年 8月 16日  菊池市 出納員・会計職員 氏名 総務課長 開田 智浩		領 収 印  

資料購入費 33,000円

振替払込請求書兼受領証(振込金(兼手数料)受領書)

この受領証は、大切に保管してください。

口座番号	001508	196500
加入者名	日本教育新聞社	
金額	千 百 十 万 千 百 十 円	3 3 0 0 0
振込宛	銀行	支店
おなまえ	544132	
ご依頼人	福島 英徳	
料 金	(消費税込み)	円 23,211
備 考		印 293249

CVS収納用収入印紙貼付欄

(お客様控)

(ゆうちょ銀行)

御 請 求 書

令 和 4 年 8 月 2 日 NO.15

福 島 英 徳 様

有限会社エムケイプランニング

御請求金額 ￥100,957

東京都荒川区西尾久2-22-4

TEL 03-6807-7460

FAX 03-6807-7470

E-mail kamiya@mk-p.co.jp

上記の通り御請求申し上げます。

銀行振込をご指定の場合、下記口座のいずれかにお振込ください。

三菱UFJ銀行 赤羽駅前支店 (177) 普通 0935320

城北信用金庫 浮間支店 (032) 普通 5013126

巢鴨信用金庫 志村支店 (008) 普通 3150337

内 容	部 数	単 価	金 額
市政活動通信 vol.13			
シール貼り	562	7	3,934
封入1点	562	4	2,248
シール打出費	562	4	2,248
A4 OPP封筒	562	4.5	2,529
メール便	562	85	47,770
納品手数料	1	3,000	3,000
A3 両面カラー コート90Kg	2,200	12.75	28,050
残物配送費	1	2,000.0	2,000
【小 計】			91,779
【消費税】			9,178
【合計額】			100,957



領収証 福島英徳様 No. \_\_\_\_\_

金額

¥100,957

但 DM作業代と12

2022年 8 月 8 日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等( %)



〒116-0011 東京都荒川区西尾久2-22-4  
有限会社 エムケイプランニング  
代表取締役 神谷 光明

コクヨ ウケ-695

領収証 福島英徳様 No. \_\_\_\_\_

金額

¥104,587-

但 DM作業代と12

2022年 / 月 22 日 上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等( %)



〒116-0011 東京都荒川区西尾久2-22-4  
有限会社 エムケイプランニング  
代表取締役 神谷 光明

コクヨ ウケ-695

# 請求書

福島英徳 様

日付: 2022年08月31日

〒861-1357  
熊本県 菊池市七城町高田640-1

請求書番号: 1524

下記の通りで請求申し上げます。

株式会社サン [redacted]  
〒861-1351 [redacted]  
熊本県 菊池市七城町砂岡462番地  
電話: 0968-24-3898  
代表取締役 吉田正洋  
携帯電話: 090-3414-1212  
メール: massey@sundayfarm.co.jp  
Facetime: massey@sundayfarm.co.jp  
Web: www.sundayfarm.co.jp

合計金額 33,000 円

詳細	数量	単価	金額
【ミニマム】WEB維持管理費 年払い	1年	30,000	30,000
【ミニマム】福島ひでのり.com年間ドメイン更新料			


振込期日	2022年09月30日	小計	30,000円
振込先	PayPay銀行 本店営業部(普通) 5455849 ゆうちょ銀行 記号番号17110-5911921	消費税	3,000円
		合計金額	33,000円

### 備考欄

ホームページには、政務活動の他、議員個人のPRも含むことから、 $\frac{1}{2}$  控分とする。  
 $33000円 \times \frac{1}{2} = 16,500円$

# 領収書

No. 1524

領収日 2023年03月27日

福島英徳 様

## 金額 33,000 円

但、Web管理代金年額として

上記、正に領収いたしました。



内訳

税抜金額: 30,000円

消費税額等: 3,000円

〒861-1355 [Redacted]  
熊本県 菊池市七城町砂田462番地  
株式会社 [Redacted] フォーム  
[Redacted]



# 活動通信

菊池市政に民間企業での経験と、市議会議員としての4年間の経験で  
意思決定・政策のチェックの場に、培った視点を活かします

令和4年6月議会 vol.13

Kikuchi city council member Report

## 福島ひでのり

5月の市議会改選後に行われた6月臨時議会において、新しく委員会の構成が決まりました。私は、経済建設常任委員会（経済部：農政・農林整備・商工振興・観光振興、建設部：土木・都市整備・下水道）になりました。併せて、合志市と菊池市で構成される、菊池養生園組合の代表議員になり、監査を担当することになりました。



5月に行われました菊池市議会議員選挙では、合併後初の無投票ではありましたが、厳しいと言われる2期目の議席をいただくことができました。

私は、この4年間私利私欲ではなく、市民目線でブレることなく活動してまいりました。

中央図書館椅子の高額でかつ、不透明な入札問題から始まり、市長に監督責任がある三セク（メロンドームと温泉ドーム）の不当な接待費問題や、公共施設を削減している中で、本当に必要かどうか疑わしい防災倉庫に1億2,000万円を使うなど、とにかく多くの問題に直面してまいりました。我々議員は二元代表制の一翼を担い、執行部に対するチェックをするべき立場であるにもかかわらず、4人を除く15人の議員は執行部追認識会と揶揄されるありさまでした。

この4年間の議会活動において、賛同される市民の方の声を多く聞く半面、厳しい指摘をされる方も少なくはありませんでした。このように賛否ある中で、できれば無投票ではなく、私の4年間の活動に対してどのような評価が下されるのか、民主主義の根幹である選挙で審判を受け、議席をいただきこれからの活動に活かしていくべきだと思ったのが本音ではあります。

福島ひでのり.com

もしくは、右のQRコードを読み取って、ホームページやLineにアクセスしてください



連絡先

〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1

TEL :

発行者：菊池市議会議員 福島 英徳

# 市民の声を市政に活かす 一般質問

## 半導体工場の菊陽町への進出について

**福島：**世界最大の半導体受託製造企業（ファウンドリー）である、TSMCの熊本進出が決まってから半年以上が経っており、情報収集や課題の把握を行ってこられたと思いますが、どのような活動を行ってきたのかをお聞かせください。

**政策企画部長：**本年1月に、市長を本部長とする「半導体関連企業等進出に係る菊池市活性化推進本部」を設置し、2月にはこの本部の下部組織として「産業振興促進部会」「道路・交通・住環境部会」「人財育成・教育環境部会」「生活サポート部会」の四つの作業部会を設置し、具体的な課題や施策の検討を進めてる。

本部会議についてはこれまで4回開催しており、TSMC関連事業者からの相談に関する情報共有や、居住誘導候補地域、移住・定住に向けた支援策の検討などを行っており、各作業部会ではTSMCの進出スケジュールに合わせた施策のロードマップの検討や、不動産業者との意見交換による事業者側のニーズなどの把握などを行っている。

課題としては、企業誘致や居住誘導を進める上での農地における農業振興地域などの規制、道路・上下水道などのインフラ整備、外国人向けの窓口などにおける多言語対応などが挙げられている。

また、今回のTSMC関連の開発に当たっては、工場・住宅・道路・教育など極めて短期間に広範囲の課題を解決していく必要があるため、戦略的に取り組んでいく必要がある。

工場誘致については、県営工業団地の造成に全面的に協力することでスピードアップを図り、本市としては住宅誘致に極力特化していきたい。

**福島：**先端技術の半導体製造に欠かせないのが、高い技術力を持ったエンジニアであることはいうまでもありませんが、併せて高い技術力のある半導体設備メーカーも重要になってきます。

製造メーカーは在庫を極力持たない傾向にありましたが、今もなお続くコロナの影響で在庫ゼロが

及ぼした影響から、在庫はある程度持つように方向性を変えるようにはしているようです。しかしながら、メンテナンスやサポート面においては、工場に近いところを選んで進出する傾向は変わりません。

関連企業誘致において菊池市は、TSMC熊本工場新設場所に、立地条件（通勤時の渋滞は少なく、土地の価格）において、近隣自治体に比べて大いに優位性があると、私は考えます。

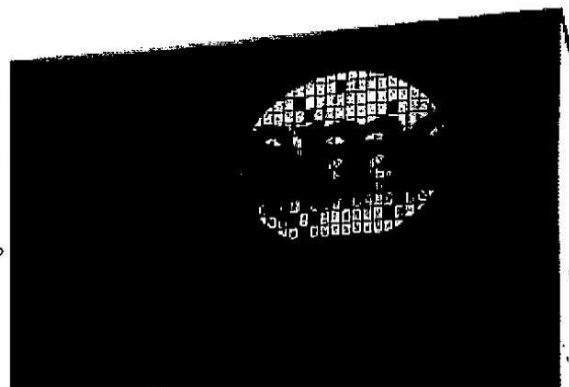
チャンスを掴むには、特にスピードが必要であり、そのスピードには計画性が必要です。計画とスピードでどのような舵を切るか。今、大きな岐路に立っています。

このような、またとないビッグチャンスを目の前にして、どのようなランドデザインを描かれ、マスタープランが作成され、ロードマップが作られているのかをお示しください。

**政策企画部長：**市のランドデザインということだが、今回の旭志地域の過疎地域指定、TSMC熊本工場や中九州横断道路などの地理的条件を踏まえ、TSMC進出に伴い設置した「半導体関連企業等進出に係る菊池市活性化推進本部」において、企業誘致や宅地造成を誘導する地域の検討を進めており、これらを踏まえたランドデザインについては、都市計画などの各種計画への反映を含め、国や県とも協議しながらしっかりと検討してまいる。

**福島：**先ほど申しましたように、スピード、計画性、これを最重点課題として取り組まないと、本当にこのチャンスをなくすと思いますよ。抽象的なことではなく、また、国や県の動向とかじゃなく、市独自でできることはたくさんあると思います。どの自治体も、今、一生懸命にやっているんです。

ぜひとも具体的な計画を立てスピーディに取り組んでいただきたいと思います。



## 子育て世帯への 支援体制について

**福島：**菊池市では子育て支援の充実を謳われていますが、子育て世帯に対して行っている支援の内容をお聞かせください。他の自治体と比較して、菊池市が充実していることをアピールしていただいても結構です。

**健康福祉部長：**経済的な支援としては、各種手当の支給や医療費の助成を実施し、子育て世帯の経済的な負担軽減を図っている。

このほか、特色のある本市の子育て支援事業としては、第3子目以降の出産祝い金として「すくすく子宝祝金事業」や「ファミリーサポートセンター事業」における第2子以降の利用料の無償化、低所得の多子世帯に対する保育所での副食費の補助、保育所において医療的ケアが必要な児童の受入れ体制の整備などを実施している。

**福島：**兵庫県明石市の泉房穂（ふさほ）市長が、令和4年6月7日に、参議院内閣委員会に「子ども施策で、人口増・経済好循環」～決断すれば実行可能～というタイトルで参考人説明をされています。また、同時期の新聞記事には「主要先進国の中で、日本は国内総生産（GDP）比で公共事業費は高いが、子ども関連予算は2%にも満たない低水準だ。家計でいえば家の修繕ばかりで、子どもの教育費や食費にかけないようなものだ」とのコメントも記載されていました。

明石市の取組みを述べさせていただきましたが、先ほどの答弁にあった菊池市の子育て世帯への支援内容も、担当課として現状やれる範囲では精一杯やられているのだと思います。

しかしながら、本気で子育て世帯を支援したいと考えるならば、先進自治体の取組みを積極的に取り入れて実行することこそ、子育て世帯に対する手厚い支援と言えるのではないのでしょうか。

それではもう少し範囲を絞って質問いたします。知り合いのおじいちゃんや、おばあちゃんの話ですが、今のランドセル価格は5万円から7万円ぐらいます。また一人であればまだしも、何人も孫が入学すると嬉しい反面、結構な負担になってしまう。

できれば山鹿市みたいに、就学時にランドセルを菊池市でも無償支給してもらえないだろうか。といった内容です。

そこでお尋ねします。令和元年の一般質問においては、ランドセルの一律支給は考えていないと答弁されていますが、それから3年経ちコロナ禍により経済状況も各家庭によっては大きく変化していると思いますが、本市においては就学時にランドセルを無償支給する考えがあるのかを、改めてお聞かせください。



**健康福祉部長：**県内で実施している自治体が3か所と多いものではないこと、一人ひとりの個性に合わせたランドセルの支給に対することなどの課題があること、ご家庭によってはランドセル購入自体が家族からのお祝いの意味があることなどの理由から、本市において、ランドセルを支給することは、今のところ考えていない。

**福島：**菊池市にも就学援助制度があることは承知しています。私は、先ほど明石市の取組みを伝えたとおり、全ての子どもたちへの支援が必要だと考えます。就学援助支援とは別に、全ての就学児童・生徒に対して、必需品を無償提供することが子育て世帯への手厚い支援といえるのではないのでしょうか。ランドセルが支給されれば、経済的に厳しいご家庭では、ランドセル代をほかの用途に使うこともできるわけです。

ランドセルの無償支給には高い壁がありそうですので、改めて提案します。小学校、中学校への就学時に、学校制服を無償支給するのはいかがでしょうか。自由に選べる多種多様なランドセルとは違い、制服は学校ごとに決まっているため、自由に選べず、かつ必需品だからです。

すべての子育て世帯に対する、子育て支援の一環として提案しますが、考えをお聞かせください。

**健康福祉部長：**全国的にも実施している自治体が少ないことと、地域での譲り合いの活動が行われていることなどから、今のところ制服の支給については考えていない。

令和4年第2回菊池市議会定例会は、6月24日から7月15日まで22日間開催されました。

令和4年度の一般会計補正予算では、12億5,000万円が追加され、一般会計予算の総額は284億9,000万円になりました。

今回の補正予算で主だったものは、新型コロナウイルス感染症対策事業として、プレミアム付き商品券事業(5,000円で1万円分)に、5億円。原油価格・物価高騰対策農業者支援金として、1億4,700万円。畜産競争力強化対策緊急整備事業に、8,000万円。コロナワクチン接種委託料に、6,000万円。旅館・ホテル等への宿泊客や、日帰り旅行者に対する助成金として、5,400万円です。

なお、プレミアム付き商品券販売収入(2億4,000万円)とコロナワクチン接種(全額、国と県からの臨時交付金)を除いた事業の約1割は、市の財源です。\*金額はわかりやすいように数値を丸めています。

### 《議論は出尽くした今こそ、議員定数削減!》

6月23日付け熊日新聞の新議長挨拶のなかで、水上議長は「議員定数削減の議論は避けて通れない」と強調されていましたので、今議会において、もちろん全員協議会で議論されるものと思っていましたが、議題にも上がらなかったため、定例会最終日に木下雄二議員を提出者として、福島英徳・二ノ文伸元議員・荒木崇之議員、大山宝治議員の4名が賛同者となり、議員定数を20名から16名に削減する条例改正案を提出しました。

私は、賛成討論の中で、「前議会の議会改革委員会や、これまでに提出した3回の条例改正案の中で議論は出尽くしている。5月の改選での無投票を受け、定数削減はやむなしである。4名の削減が多い、もしくは少ないと考える議員がいれば、是非とも対案を出すべきだ!」と思いを伝えましたが、採決の結果、**賛成：5、反対：14**で否決となりました。

### 《移動販売車“きく丸号”が突然の廃止》

平成30年から、買い物困窮者の支援や見守りを兼ねて、第三セクター連絡協議会が運行していた移動販売車「きく丸号」を、6月29日の全員協議会で7月末に廃止するとの報告がありました。理由は、移動販売車の老朽化、人員不足、赤字が続き継続するのが困難だとの理由でしたが、なぜ唐突にそれも廃止する1か月前の報告だったのか。

本来の主旨である買い物困窮者の支援がおざなりになってはいけないと思います。買い物支援だけでなく、見守り活動は、地域の方々にとっては心強かったはずです。

市としては、高齢化や過疎化が著しい今こそ、住民に寄り添う市政運営をなすべきではないでしょうか。



### 安全対策はどうなった?! - 菟入新橋開通後の通学路 -

菟入新橋の架け替えに伴い、利便性が良くなることは地域住民の方はもちろん、利用者にとってもありがたいことではありますが、交通の流れが変わることによって交通量の増加による安全性も懸念されるところです。

菟入の区長さんはもちろんのこと、周辺地区の区長さんからも、子どもの通学路になっている道路に対する対策について要望され、これまでに令和2年12月と令和3年12月定例会で2回の一般質問を行いました。令和4年3月22日の開通式においても、地元区長さんや七城駐在所の警察官とも改善協議を行いました。

何よりも、区長さんや地元住民の方々のお力添えによって、横断歩道や自動車が減速するためのハンプと路面の表示、そして交差点には、止まれの標識が設置されることとなりました。



交差点に止まれの標識を設置



菟入地区内にハンプを設置



菟入新橋の板井側に横断歩道



# 市 政 通 信

菊池市政に民間企業での経験と、市議会議員としての4年間の経験で  
意思決定・政策のチェックの場に、培った視点を活かします

令和4年9月・12月議会 vol.74

## 福島ひでのり



新年あけましておめでとうございます。

コロナが収束しない状況において、ロシアのウクライナ侵略や、超円高による物価高など、国内外では激動の昨年だったように感じます。

そのような中において、サッカーワールドカップでは森保ジャパンが死の組みといわれたE組でドイツ・スペインを撃破したことで、日本中が湧きあがりました。また、MLBでは大谷翔平選手が、史上初となる規定投球回数と規定打席数の同時達成や、104年ぶりの2桁勝利、2桁本塁打といった偉業を達成しました。国内では、熊本出身の村神様こと村上宗隆選手が、日本人最多となる56本の本塁打に加えて、最年少での三冠王を獲得するなど明るいニュースでワクワクした一年でもありました。

何とんでも半導体受託製造の世界最大手であるTSMCが熊本に、それも隣町の菊陽町への進出はビッグチャンスであり、菊池市の発展につながることを大きく期待しています。

市政に目を向けますと、昨年の市議選が無投票だったこともあり、大きな変化はなく、数の論理による執行部追認議会と揶揄（やゆ）される状況は変わっていません。

いま一度、リンカーン大統領の名言でもあり、民主主義政治の原則である「市民の市民による市民のための政治」を肝に銘じて活動いたしますので、本年も叱咤激励のほど、よろしく願い申し上げます。

福島ひでのり .com

もしくは、右のQRコードを  
読み取って、ホームページや  
Lineにアクセスしてください



連絡先

〒861-1357 熊本県菊池市七城町高田 640-1

TEL :

e-mail :

発行者：菊池市議会議員 福島 希徳

# 市民の声を市政に活かす、一般質問

## 菊池市管内堤防等周辺美化委託のあり方について（9月）

**福島：**七城町の河川管理については、市町村合併前から国土交通省からの委託金を受けて、管内の河川の草刈りなどの管理を行っていました。

当時の緒方七城町長が熱心に国土交通省との協議を重ねて、町長と職員が一体となって、適正な管理をやってきた成果であったと思います。

しかし、ここ数年はコスモスの質が落ちていくように感じます。特に今年、国道325号の水次橋から西郷橋までの迫間川の右岸側は、草刈りがされていない状況であり、コスモスの種をまく河川敷においては、迫間川、菊池川とも、一切、トラクターで耕してもいない状況でした。令和3年度までは会計年度任用職員\*注が河川管理していたのに、令和4年度から一括して草刈り除草管理委託になった理由について、お聞かせください。

**建設部長：**会計年度任用職員の高齢化が進んでおり、近年の猛暑により体調管理が困難になったことが理由です。

**福島：**私が確認している内容と少し違うようです。会計年度任用職員の方は、七城支所から突然、任期期間満了の通告があったとのことでした。河川管理をされていた会計年度任用職員の方々は、ほぼ七城町在住の元気のいい方々です。本来は、雇用の担当課である土木課からきちんと話をうべきではなかったのでしょうか？

では、新しい委託先として、1,665万円もの大きな金額を七城ふるさとコスモスマつり実行委員会に1社随意契約により委託してありますが、実績もない一補助団体に、単独随意契約\*注することが適切でしょうか？

指名審査会においてどのような協議がなされたかをお尋ねします。

**副市長：**指名審査会の会議は秘密会とし、公開しないと規定されておりますため、審議内容の詳細については、差し控えさせていただきます。

\*注) 随意契約☞ 地方公共団体が競争の方法によらないで、任意に特定の者を選定してその者と締結する契約方法をいいます。

**福島：**菊池市が観光振興課を事務局とした実績のない一補助団体である七城ふるさとコスモスマつり実行委員会と安易に単独随意契約を結ぶことは、適切ではないと私は考えます。

数年前まで、ステージイベントとコスモスウォークの運営のみを任されていた七城ふるさとコスモスマつり実行委員会が受託可能だったのか。適正な判断をされたのかお尋ねします。

**経済部長：**河川敷に咲くコスモスは、これまで会計年度任用職員さんによる堤防管理の一環で行われておりましたが、七城ふるさとコスモスマつり実行委員会でも一体的に受託するというので、受託は可能というふうに判断しております。

**福島：**令和4年3月10日に開催された、第3回菊池市七城ふるさとコスモスマつり実行委員会会則の一部改正について、第3条4号、第12条2項を、単独随意契約による委託契約をするために追加されています。

その会議の一部改正資料が、同年6月8日に使用された総会資料の会則は改正前の内容になっており、情報公開請求した資料では、会則がなぜか改正後の内容に替わっており、同じ日の総会資料が3種類も存在しています。

明らかに公文書偽造であり、いつ、誰が、何のために書き換えたのかお尋ねします。

**経済部長：**資料の一つは、6月8日開催の七城ふるさとコスモスマつり実行委員会総会時の資料として添付しているが、誤って改正前の資料を添付してしまいました。そのことに気づいて、総会欠席者の方には、会則改正後の料に差し替えを送付を行ったところである。

**福島：**部長！いつ、誰が、何のために書き換えたのかという質問なんですよ。職員の単なるミスということで理解してよろしいですね。

しかし、悪意があるなし、故意か、非故意を問わず、一般的には、これを改ざんというんですよ。公文書偽造に当たると思いますよ。

\*注) 会計年度任用職員☞ 自治体に所属する「一般的な非正規職員」のことで、会計年度任用職員制度が導入される以前は、「臨時職員」「非常勤職員」と呼ばれていた職員の多くがこの「会計年度任用職員」となりました。

## 菊池市管内堤防等周辺美化委託 のあり方について（12月）

**福島：**私は前回の質問で、今年の河川の草刈が、昨年よりも疎かになっていることを指摘しましたが、令和3年度と令和4年度で何件の苦情が寄せられていますか？

**建設部長：**令和3年度については、記録を残しておらず、苦情の件数は把握はできてません。

令和4年度においては、苦情の件数は延べ16件となっています。

**福島：**前回の一般質問では、令和3年度は苦情が多かったから、令和4年度から別のところに業務を委託したとの答弁でしたが、苦情件数が令和3年度は0件、令和4年度は16件、これでは答弁が矛盾していませんか！

では、前回の質問で新しい委託先として、1,665万円もの委託料を実績もない一補助団体である七城ふるさとコスモスマつり実行委員会に1社随意契約により委託しているのは適切ではないと指摘しました。

では、河川の草刈を七城ふるさとコスモスマつり実行委員会から下請け業者に工事を請け負わせる契約のあり方は適切なのかお聞きします。

**副市長：**担当課から説明を受け指名審査会において決定したものであります。

**福島：**河川管理の下請け業者であるA社の代表が、令和3年12月27日に市が主催した、七城地区の河川管理の検討会議に、A社の代表が参加し、その代表の会社に工事を請け負わせることは適切だと考えますか。

**建設部長：**あくまでもA社の代表の会議出席については、七城ふるさとコスモスマつり実行委員会の商工青年部支部長としてだと認識しています。

**福島：**市が主催した会議に出席した業者と事前に何度も協議を行い、そのまま随意契約により下請け業者として、その協議を行った業者に入札ではなく、随意契約を行っております。まさに官製談

合ではありませんか。考えをお聞かせください。

**建設部長：**七城ふるさとコスモスマつり実行委員会の事前協議については、組織体制、それから、業務を委託した場合の業務遂行能力、会計年度職員が雇用を望んだ場合の受入れ可能かといったものを確認しており、最終的には担当課で実施が可能と判断したことから、指名審査会に諮りながら契約を行いました。

**福島：**最後に市長にお尋ねいたします。市は、市民の信用をなくしては成り立たないと考えます。

官製談合とも取れる契約や、一部の個人や団体に付度（そんたく）する行為は論外です。

今回は河川管理の委託の在り方について質問いたしました。本件委託から契約までの一連の流れについて、市長は適切だったとお考えでしょうか、お聞かせください。

**市長：**合意が成立したということから、特段問題も契約についてはなく、今申し上げたような審査もきちっと庁内で行っており、これが官製談合とのことであれば、ここでおっしゃるのではなく、別のところで別のやりようがあるのではないかと。

私どもは、きちんとやっておりますということをお聞きして、私の見解といたします。

**福島：**もう時間もありませんので、またこれは引き続きやらせていただきたいと思っております。

前回の一般質問でも申し上げましたように、江頭市政になってから不祥事が増えていると私は思います。

もっと市民目線で、襟（えり）を正し、緊張感を持って、市民に信頼される市政運営に改善されることを申し述べて私の一般質問は終わります。



令和4年第4回菊池市議会定例会は、11月29日から12月21日まで23日間開催されました。

今回の議会において、主だった議案は令和4年度一般会計補正予算および、菊池市リバーサイドパーク条例の一部改正条例の制定です。

令和4年度の一般会計補正予算では、8億9,700万円が追加され、一般会計予算の総額は299億4,900万円になりました。

補正予算の主なもの、財政調整基金\*注への積立金に3億5,000万円。国と県から私立保育園経費として支出された金額に対して、期末に返納する額が2億1千万円。同様に国からの生活保護扶助費を国に返納する額が5,200万円。その他、新型コロナウイルス感染症対策予算となっています。

\*注) 財政調整基金 地方公共団体が年度間の財源の変動に備えて積み立てる基金で、財源に余裕がある年度に積み立てておき、災害など必要やむを得ない理由で財源不足が生じた年度に活用する、地方公共団体の貯金のことです。

### 《もらえるものは、もらっとけ?!》

議案第82号で菊池市長等の給与および、菊池市議会議員の報酬に関する条例の一部を改正する条例が提案されました。これは、コロナ過によりカットされていた期末手当を戻す内容です。

これまで身を切る改革として、さまざまな削減や廃止の提案をしてきたものの全て否決されてきましたが、コロナ過が続き、市民が辛い状況において、私たちが甘んじることはできないと考え、条例の一部改正には反対しましたが、結果は反対9、賛成10で可決となりました。

今回は、私を含め9名の議員が反対されました。誰が反対して、誰が賛成したのかは、3月1日発行の「議会だより」に記載されますので、是非ともお読みください。

### 《三セクの交際費不当支出はどうなった?》

熊日報道にもありました、七城メロンドームと七城温泉ドームの交際費2,059万円のうち、523万円は不当支出と認定した、市の監査委員会が調査した結果報告がありました。

市からの報告では、二つの法人が独自(使った人自らが)に精査した結果として、不当支出と指摘された523万円のうち、263万円だけを返納するとのことでした。

85%以上を出資している菊池市が、監査委員会からの指摘に対して、全額の返還要請は受けていないなど、指導どころか擁護(ようご)ともとれる姿勢には呆れてしまいます。



### 菊池市リバーサイドパーク条例の一部改正の条例制定 -

☆温泉ドームの安直な値上げは、断じて認められない!

☆利用者に満足してもらう施設運営を行う経営姿勢が見られない!

議案第91号において、七城温泉ドームの入場料を、大人360円から460円(税抜)に、子ども130円から230円(税抜)に、どちらも上限価格としてですが値上げする条例が提出されました。

値上げの理由として、経営の悪化や光熱水費の高騰により人件費を削っても経営が厳しくなるとの説明がありました。しかし、私は現経営陣に大きな問題があると考えます。

そこで、下記の反対討論を行いました。\*反対討論の一部を抜粋して記載します。

リバーサイドの経営状況を見るかぎり、平成30年度に1億2,355万円あった純資産が、単年度経常収支で毎年赤字を計上し続けて、令和4年度には純資産が4,000万円程度まで目減りすると試算されており、今回温泉施設の入場料を引き上げる条例案の制定に向けた料金の算出根拠も示されています。この算出根拠を見て驚いたのは、3割値上げしても入場者数が同じになっていることです。値上げしても入場者数が減らない根拠が私には理解できません。経営は足し算だけでは成り立たないのです。

令和2年6月に入場料金を1割値上げした際、3割の入場者減になっています。もちろん、フリーパス券の廃止および、午前10時から翌日の午前7時までの営業時間を午前1時までと6時間短縮したことも大きな要因だと考えます。

経営が厳しいからと短絡的に値上げを行うのではなく、利用者が求めていることを聞き、いま一度原点に戻り、福祉施設とは何たるかを再度肝に銘じられることを申し上げて、反対討論とします。



プロフィール

© 2007 FURUKAWA

プロフィール



福島 英徳 (ひでのり)

〒711-0001 福島のり OF  
 〒612-0001 福島のり OF  
 〒612-0001 福島のり OF

経歴

- 1982年(19) 福島のり OF 入社
- 1985年(22) 福島のり OF 入社
- 1988年(25) 福島のり OF 入社
- 1991年(28) 福島のり OF 入社
- 1994年(31) 福島のり OF 入社
- 1997年(34) 福島のり OF 入社